

平成28年度

事業報告

社会福祉法人あまくさ福祉会

平成28年度 指定特定相談支援事業報告書

○計画相談支援

【1】目的

障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントの手法を用いて継続的に支援していくことにより、地域で安定した生活を送れるよう支援することを目的とする。

【2】事業内容

- (1)本人のニーズの把握
- (2)利用者宅を訪問し、面接によるアセスメントを実施
- (3)計画作成の手続き
- (4)サービス等利用計画の原案作成
- (5)サービス担当者会議の開催、サービス等利用計画原案についての意見聴取
- (6)サービス等利用計画の原案を利用者に説明
- (7)定期的なモニタリング、継続的な支援
- (8)必要に応じ、サービス等利用計画の変更、サービス利用者等との連絡調整

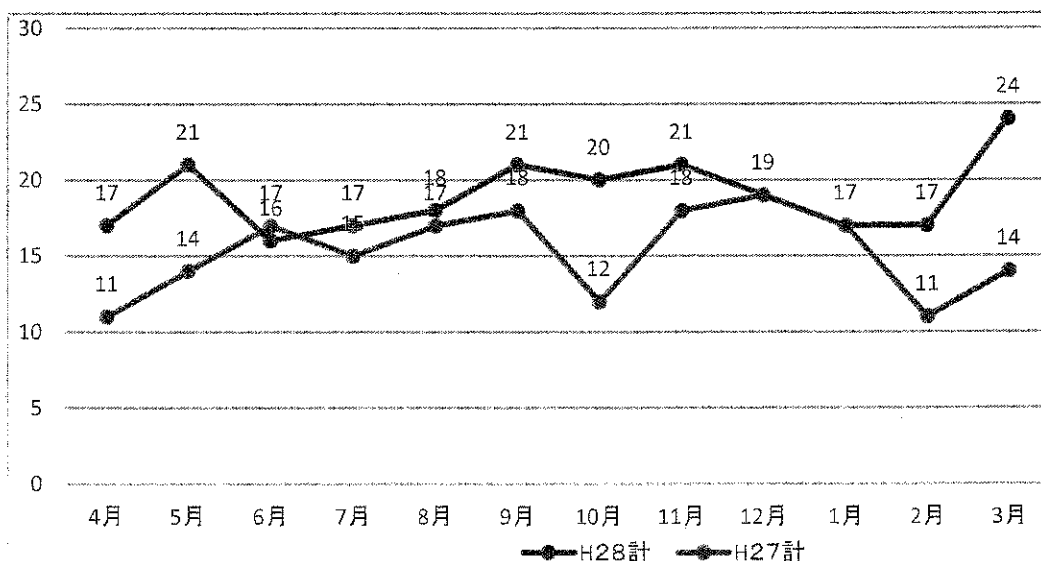
【3】サービス利用計画作成対象者数

単位(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	2	4	4	6	6	3	7	7	4	1	6	10	60
モニ	15	17	12	11	12	18	13	14	15	16	11	14	168
H28計	17	21	16	17	18	21	20	21	19	17	17	24	228

新規	0	2	3	3	4	2	3	5	2	3	2	8	37
モニ	12	10	5	5	4	9	9	9	7	8	8	13	99
H27計	11	14	17	15	17	18	12	18	19	17	11	14	183

(注)新規……サービス等利用計画の作成
モニ……モニタリング



【4】登録者数 56名(平成29年3月31日現在)

○基本相談支援

【1】目的

・障がい者やそのご家族、また関係機関等からの相談に応じ、その当事者の方が地域で安心して日常生活を営むことができるよう、その人に何が必要なのかを考え、その人に応じた支援を実施していく。また市町村における相談支援事業が適正かつ円滑に実施されるよう、一般的な相談支援事業に加え、専門的知識を持った職員により、相談支援機能の強化を図ることを目的とする。

【2】事業内容

①福祉サービスの利用援助

* 障害者自立支援法に規定されたサービスに関する助言・指導・援助等

②社会資源を活用するための支援

* 就労に関する助言・指導・支援

* 就労ネットワークの構築

* 社会保障等に関する助言・指導・支援等

③社会生活力を高めるための支援

* 病気や治療、精神的問題など日常生活に関する助言・指導・支援

④ピアカウンセリングに関する業務

* 人材育成を行っていく

⑤権利擁護のために必要な援助

* 人権、権利の擁護に関する支援等

⑥専門機関の紹介

* インテーク、他施設・機関等の紹介等

【3】相談件数

単位(件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
天草市	87	90	87	95	81	50	76	75	100	97	79	105	1022
上天草市	4	8	15	5	5	5	6	4	5	9	17	13	96
苓北町	3	2	1	10	13	7	8	7	10	9	9	8	87
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3	6
合計	94	100	103	110	99	62	91	86	115	116	106	129	1,211

○ H28年度の振り返りとH29年度の取り組みについて

サービス利用作成において平成28年3月末で相談実利用者は58名で平成29年3月末で56名であった。単純に2名減ではなく、平成28年度中には新規申請を含め最高63件の登録数が確認できたが一般就職等でサービスを終了するケースが16件発生したことが加味される。しかし、計画相談のグラフからも分かるようにサービス利用計画の作成においては前年度比+23件、モニタリング前年度比+69件となり増益したことが読み取れる。一つの要因としては新規事業所からまとまった人数の計画相談依頼があったため増加が見込まれたものである。しかし弱点として一般就労への就職率も高いためサービスの終了件数も多かった。今年度は昨年度の目標人数75名に届かなかった為、引き続き平成29年度も目標を登録者数75名に据え置き基本相談員及び計画相談支援の人員増加を目指す。目標達成に向け、新規登録者の開拓、その為には行政及び病院、関係機関との普段からの連絡網を大事としたい。同時に、相談支援専門員の資質向上を目指す。

平成28年度 生計困難者レスキュー事業報告書

【1】目的

- ・ 社会福祉法人の社会貢献活動として、生計困難者への心理的不安の軽減や公的な制度やサービス等 への橋渡しを行う事を目的に、生計困難者に対する相談・支援事業を実施
- ・ 支援事業として、生計困難者が公的な制度やサービスなどを受けられようになるまでの間、必要に応じて生活必需品の給付、一時的な住まいや食事提供等の経済的援助を実施

【2】事業の特徴

- (1) 事業を実施する法人の施設にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置
- (2) 県・市の福祉事務所など公的機関や市町村社協、民児協等と連携し重層的な支援体制の構築を目指す
- (3) 対象者を限定せず、すべての生計困難者を対象とする
- (4) 施設に総合相談窓口を開設し、生計困難者の生活課題に対応する
- (5) 必要に応じて経済的援助をおこなう。現金給付ではなく、担当のCSWが買い物や支払に同行するなどして現物給付で行う

【3】レスキュー事業の実施状況

※平成29年3月31日現在

(1) 支援実施状況

1) 支援受付報告書提出	14	件		
2) 支援終了記録提出	13	件		
3) 基金支払請求	13	件	計	95,573 円
4) 支援継続中	1	件		

(2) 支援内容集計表

月別相談
受付件数

4月	1	件
5月	0	件
6月	1	件
7月	2	件
8月	2	件
9月	0	件
10月	2	件
11月	2	件
12月	0	件
1月	1	件
2月	1	件
3月	2	件
計	14	件

対象者
年代別

20代	1
30代	1
40代	2
50代	4
60代	5
70代	1
80代	0
計	14

対象者
男女別

男	6
女	8
計	14

対象者 平均年齢	平均 支援期間	平均 訪問回数	平均 同行支援回数	基金 支払総額	平均 基金支払額
54.8歳	2.57日	2.71回	2.57回	95,573円	6,826円

○ H28年度の振り返りとH29年度の取り組みについて

県経営協会が拠出し県社協内に作った基金から支払う本事業は、現在、県経営協会員の約200法人のうち42会員法人が参加しており年間約600万円の予算が組まれている。年々、社会福祉法人の社会貢献活動としての本事業が浸透化し参加法人も増加傾向にある。生計困難者の心理的不安の軽減や公的な制度、サービス等へのサービスなどへの橋渡しを行っていきたいと考える。また、生計困難者が公的な制度やサービスを受けられるようになるまでの間、必要に応じて生活必需品の給付や一時的な住まい、食事の提供など迅速かつ的確に行えるよう行政及び関係機関と情報共有しながら経済的にサポートしていきたい。

地域活動支援センターⅡ型

1. 事業内容

※基礎的事業

- ・創作的活動(料理、手芸、絵画など)
- ・生産的活動
- ・その他

※Ⅱ型事業

- ・医療、福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整
- ・地域住民ボランティア育成
- ・障がいに対する理解促進を図るための普及活等の事業実施

2. 事業報告

<登録者>

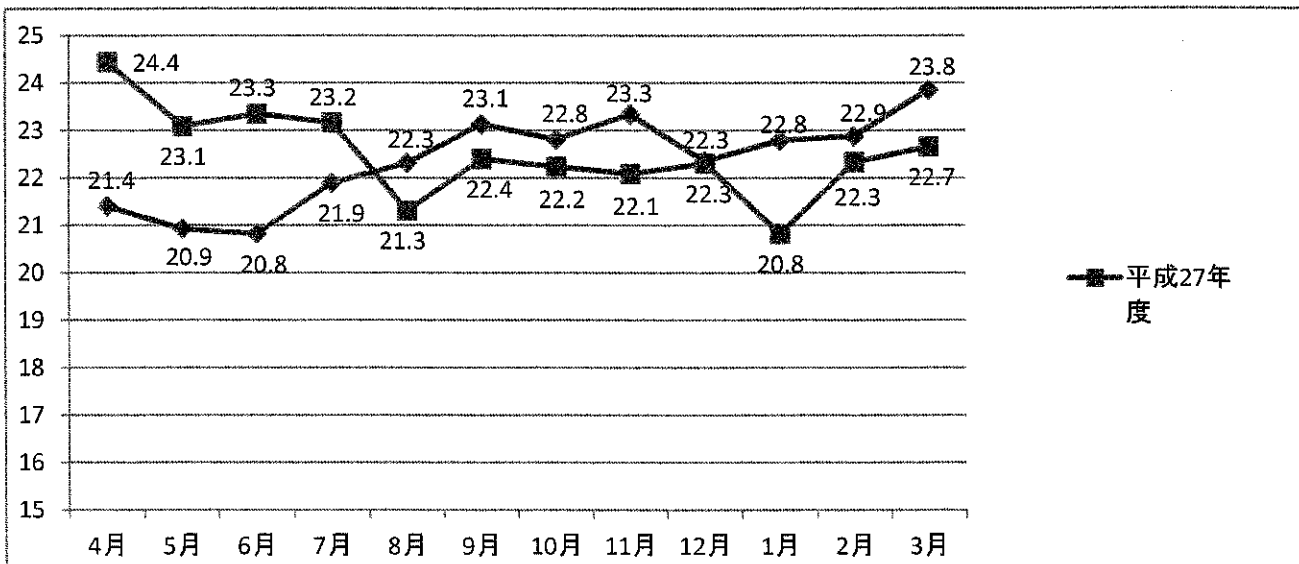
天草市	男性119名(新規4名)	190名(新規8名)
	女性71名(新規4名)	
苓北町	男性14名(新規0名)	20名(新規0名)
	女性6名(新規0名)	
上天草市	男性10名(新規0名)	12名(新規0名)
	女性2名(新規0名)	
合計	男性143名(新規4名)	222名(新規8名)
	女性79名(新規4名)	

◆基礎的事業

1. 憩いの場の提供

<平成28年度利用人数>

平成28年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	実利用人数	535	481	541	547	580	555	570	560	514	524	526	620	6553
	開所日数	25	23	26	25	26	24	25	24	23	23	23	26	293
	平均	21.4	20.9	20.8	21.9	22.3	23.1	22.8	23.3	22.3	22.8	22.9	23.8	22.4



平成28年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
性別	男性	417	369	419	389	423	419	426	415	385	402	394	426	4884
	女性	118	112	122	158	157	136	144	145	129	122	132	194	1669
	合計	535	481	541	547	580	555	570	560	514	524	526	620	6553

平成28年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域別	天草市	425	360	412	431	451	444	448	446	409	415	427	505	5173
	上天草市	46	53	59	55	56	54	53	49	44	46	48	55	618
	苓北町	64	68	70	61	73	57	69	65	61	63	51	60	762
	天草圏域外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	535	481	541	547	580	555	570	560	514	524	526	620	6553

＜曜日別＞

平成28年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
曜日別	月曜	人数	81	112	88	64	110	66	90	88	94	68	92	67	1020
		開所日数	4	5	4	3	5	3	3	4	4	3	4	3	44
		平均	20.3	22.4	22.0	21.3	22.0	22.0	30.0	22.0	23.5	22.7	23.0	22.3	22.8
	火曜	人数	93	82	86	104	121	102	93	119	94	97	98	102	1191
		開所日数	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	48
		平均	23.3	20.5	21.5	26.0	24.2	25.5	23.3	23.8	23.5	24.3	24.5	25.5	23.8
	水曜	人数	81	64	93	83	106	78	82	90	89	90	89	112	1057
		開所日数	4	3	5	4	5	4	4	4	4	4	4	5	49
		平均	20.3	21.3	18.6	20.8	21.2	19.5	20.5	22.5	22.3	22.5	22.3	22.4	21.2
	木曜	人数	94	67	99	88	68	88	90	69	90	88	79	116	1036
		開所日数	4	3	5	4	3	4	4	3	4	4	4	5	50
		平均	23.5	22.3	19.8	22.0	22.7	22.0	22.5	23.0	22.5	22.0	19.8	23.2	22.1
	金曜	人数	102	90	104	127	108	134	102	111	90	100	111	132	1311
		開所日数	4	4	4	5	4	5	4	4	3	4	4	5	49
		平均	25.5	22.5	26.0	25.4	27.0	26.8	25.5	27.8	30.0	25.0	27.8	26.4	26.3
	土曜	人数	78	66	71	81	67	87	113	83	75	81	57	91	950
		開所日数	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	3	4	50
		平均	15.6	16.5	17.8	16.2	16.8	21.8	22.6	20.8	18.8	20.3	19.0	22.8	19.1

＜通院機関別＞

平成28年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病院別	天草病院	236	249	286	286	290	258	265	257	216	209	216	269	3037
	酒井病院	215	156	176	183	210	201	204	215	208	232	235	264	2499
	うしぶか心愛病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稲村医院	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	1	0	7
	上天草総合病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	84	76	79	78	80	96	101	86	87	82	74	87	1010
	合計	535	481	541	547	580	555	570	560	514	524	526	620	6553

2. プログラム活動 (プログラム実施回数 161回)

活動内容	活動回数
施設内活動	104回
施設外活動	57回
合計	161回

活動内容	活動回数	活動内容	活動回数
健康管理プログラム	31回	コミュニケーションプログラム	26回
文化・芸能活動プログラム	17回	学習プログラム	12回
社会資源活用プログラム	20回	その他(各種行事)	16回
調理・栄養管理プログラム	39回	合計	161回

◆機能強化事業(Ⅱ型事業)

1. 医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整

- ① 天草圏域地域活動支援センター事業所調整会議
- ② 天草地域精神保健福祉連絡協議会
- ③ 個別支援会議
- ④ 旧熊本県精神障害者地域生活支援センター 連絡調整会議
- ⑤ 熊本県精神障害者社会復帰施設協議会
- ⑥ 天草地域自立支援協議会
- ⑦ その他の委員会及び会議

2. 障がいに対する理解促進を図るための普及啓発活動

- ① 場所の提供
・障がい者の自立的な活動、また地域住民との交流を図る
- ② 地域交流
・地域イベントへの参加、関係機関が主催するイベントへの参加
- ③ グリーンフェスタ
・当事者、関係機関、地域の住民の方へ参加を呼びかけ
- ④ 啓発活動
・広報誌「グリーンティアー」発行 年6回
・各関係機関主催の研修会・講演会への参加
- ⑤ 交流会・スポーツ大会等の支援、参加
・スポーツ交流会 ・ふれあいピック ・牛深高校とのスポーツ交流会
- ⑥ 当事者団体、家族団体の支援
・精神保健福祉会本渡家族会、精神保健福祉会天草地域家族会
- ⑦ 実習生の受け入れ

◆28年度の振り返り

○前年度と比べると、利用者数はほぼ変わらず、プログラムの実施回数を増やしたことで、参加者数も共に増加した。新規利用者の定着も数名だが実現した。

○27年度後半より、感染症などの流行で欠席して頂くケースもあり、平成28年度の4月についても利用人数が減少していたが、徐々に参加者の増加が見られた。

○自立した生活の向上にもつながることや、利用者間の協力し合える良いコミュニケーションの場になっていることから、28年度は調理・栄養管理プログラムを月4回行うことを計画し、実施できたことで参加者の増加にもつながったと考えられる。

自立訓練(生活訓練)事業 事業報告

【1】施設名

地域生活支援センターグリーン

【2】目的

知的障害または精神障害のある方に対して、障害者支援施設、障害福祉サービス事業所または障害のある方の居室において、入浴、排せつ、食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談および助言などの支援を目的とする。

【3】利用定員

10名（平成29年3月31日時 登録6名）平成28年度新規利用: 1名

【4】職員配置

職名	職員配置	
	専任	兼務
管理者		1名
サービス管理責任者		1名
生活支援員	1名	
生活支援員(訪問兼務)	1名	

【5】利用期間

原則2年間(1年延長可)

【6】事業内容

(1) 個別支援計画

- ①本人の意向に沿った計画を個別に立てて実施する。
- ②個別支援計画に策定時には必ずサービス管理責任者を中心にサービス提供職員と担当者会議を開催し支援の方向性を共有する。
- ③一か月に一回モニタリングを行い個別支援計画が適正に遂行されているかを確認する。

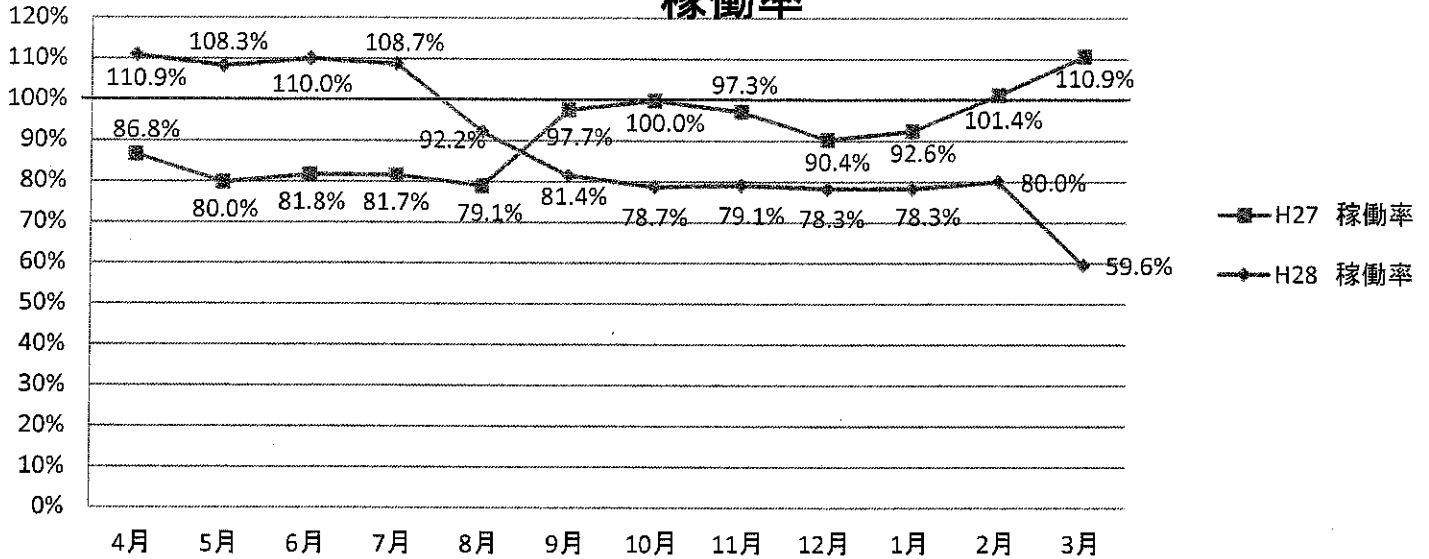
(2) 訓練プログラム

プログラム内容	計画	結果	主な活動内容
健康管理	144 回	118 回	スポーツ全般、バイタル測定、頭の体操等
コミュニケーション	48 回	98 回	コミュニケーションゲーム、座談会、カラオケ等
調理・栄養管理	48 回	43 回	調理、栄養講座等
金銭管理	12 回	12 回	金銭出納帳の確認、次月の予算立て
社会資源活用	12 回	34 回	公共機関の利用、福祉サービスの利用について
就労支援	12 回	39 回	ボランティア活動、パソコン講座、掃除等
文化・芸術	36 回	39 回	創作活動、ガーデニング等
生活支援	12 回	14 回	衛生面での指導、病気の予防に関する勉強会等
個別支援	51 回	51 回	予定確認、金銭計画、相談等
その他の行事・活動	12 回	16 回	グリーンフェスタ、スポーツ交流会等
合計	387 回	464 回	

【7】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用回数	244	249	242	250	212	179	181	174	180	180	160	137	88.8%
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	
稼働率	110.9%	108.3%	110.0%	108.7%	92.2%	81.4%	78.7%	79.1%	78.3%	78.3%	80.0%	59.6%	

稼働率



【8】平成28年度の振り返り

前年度の稼働率(平均91.7%)に比べ今年度の平均は88.8%と低下する結果となった。原因としては28年度4月スタート時は12名が利用されていたが、入院された利用者3名や訓練終了となった利用者6名に対し、新規利用者が1名だった事がある。次年度ではこの結果を踏まえて新たな利用者の獲得を行っていく事が必要だと考える。また、利用者については訓練プログラムを通し一人一人のニーズに沿いながら支援を行う中で少しずつ成長が見られる部分や安定して生活を送れる事が出来るようになった方もいると感じている。次年度は今年度の反省点も改善し、これまで以上に利用者一人一人に寄り添い自立に繋がる支援を行っていきたいと考えている。

【9】研修・勉強会参加実績

- ・平成28年度第1回天草地域精神保健福祉連絡協議会
「天草地域における精神障がい者支援に関する課題」
- ・第7回天草こころの健康づくりの集い
「大切な人を自殺で亡くすとは～自殺の現状と活動を通して～」
- ・平成28年度臨地実習指導者会議講演会
「発達と精神保健～成人期を中心に～」
- ・第46回熊本県精神障がい者家族大会
「精神障害と差別解消法～身近な問題に差別解消法をどう活かすか～」
- ・平成28年度熊本県サービス管理責任者研修地域生活分野(知的・精神)

就労継続支援A型

【1】施設の名称

就労サポートセンターぴ〜す

【2】目的

作業能力は高いが、一般企業に雇用される事が困難な障がい者の方で、適切な支援・雇用契約等に基づき就労して頂き、生産活動その他の活動の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他必要な支援を行う。

【3】利用対象となられる障がい者の方

生活リズム、金銭管理、服薬管理、食生活、協調性がある程度身についておられ、就労を継続して行うことが可能な障がい者の方

【4】作業内容

・製麺(うどん製造・販売) ・グリーンパーク ・モリンガの収穫・モリンガ周囲の除草(アースドリーム)
友栄水産(エビの養殖水槽掃除や、貴社の依頼作業:7月~)

【5】利用定員

・10名(平成29年度3月31日登録8名)

【6】利用期間その他

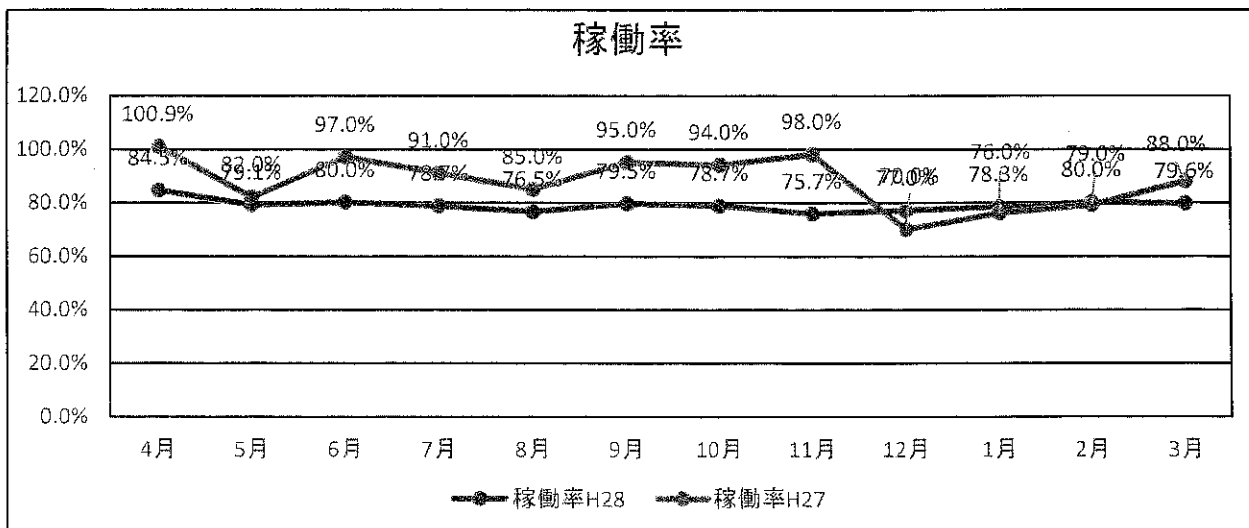
利用期間の定めなし。(原則65歳未満)

【7】販売会

期 日	販 売 会 名 称	販 売 場 所
平成28年6月4日、5日	花しょうぶ祭り	西の久保公園
平成28年8月26日	酒井病院夏祭り	酒井病院
平成28年10月16日	天草支援学校であいふれあいフェスタ	天草支援学校内
平成28年10月23日	あまくさ福祉まつり	五和町コミュニティセンター ←中止
平成28年10月29日	ゆうすい祭	ゆうすいの里
平成28年10月23日	酒井病院文化祭	酒井病院
平成28年11月23日	こすもす秋の大感謝祭	こすもす園
平成28年12月14日	こころの健康づくりの集い販売会	天草中央保健センター(天草市)
平成29年1月10日	H28年度障がい者福祉施設商品展示・商談会	熊本県庁
平成29年2月25日	2017天つのでフェスタ(天草地域福祉施設製品販売会)	天草市民センター

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者人数	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	
利用回数	183	181	172	180	176	175	181	171	177	175	158	183	
可能日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	
稼働率H28	84.5%	79.1%	80.0%	78.7%	76.5%	79.5%	78.7%	75.7%	77.0%	78.3%	80.0%	79.6%	79.0%
稼働率H27	100.9%	82.0%	97.0%	91.0%	85.0%	95.0%	94.0%	98.0%	70.0%	76.0%	79.0%	88.0%	88.0%



・利用者人数の変動はあったものの、稼働率は上記のように安定している。

【9】 月別売上

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間売上
売上	¥139,193	¥121,092	¥164,512	¥321,527	¥421,797	¥122,172	
GP	121800	127890	127890	127890	116264	¥116,264	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
売上	¥202,031	¥165,671	¥671,890	¥119,603	¥201,104	¥209,421	
GP	¥106,575	¥106,575	¥106,575	¥106,575	¥106,575	¥106,575	

【10】 H28年度振り返り

H27年度同様に、利用者様が比較的安定して就労され、今年度の稼働率や年間売り上げの向上につながったのではないかと考えられます。

経営分析や販路拡大のむずかしさを感じつつ、自分たちなりに少しずつ営業や売するための工夫（POPや文章の書き方、商品陳列等）をし、また利用者ニーズに沿った支援を心掛け、就労に対する意識改革と作業技術の専門性確保を行ってまいりました。まだまだ力不足であり、今後の課題でもあります。

29年度も上記の事を心にとどめ、日々邁進して行こうと思います。

【11】研修会等

- ・第1回、2回工賃向上研修会
- ・天草地域福祉施設製品販売促進会議
- ・第1回天草地域自立支援協議会就労部会定例会
- ・サービス管理責任者研修
- ・相談支援従事者初任者研修
- ・アマビズ(天草市起業創業・中小企業支援センターへの販売拡大の相談)
- ・平成28年度 熊本県天草障がい者就業・生活支援センター連絡会議
- ・自閉症スペクトラム及び発達障害基礎講座
- ・天草市商工会テストマーケティング 商品開発講座
- ・平成28年度 わるつ発達障害連続講座
- ・熊本県障害福祉サービス等従事者基礎研修
- ・平成28年度臨地実習指導者会議講演会

【12】 商品取扱店

- ・ユメール
- ・とれたて市場
- ・藍の村観光株式会社
- ・愛夢里
- ・門口水産
- ・リップルランド
- ・やすらぎの湯
- ・海鮮蔵
- ・熊本県授産施設振興センター
(ウエルパルクまもと内)
- ・ミナクルショップ明日香
- ・デリカテッセンイーハトーヴSORA
- ・株式会社クリエーションWEB
PLANNING
- ・直売所わかみや(11月～)
- ・ペルラの湯舟
- ・いけす料理やまもと
- ・居酒屋あまくさ村
- ・ビーフヤヒロ
- ・有限会社明成
- ・うどんの店野の花
- ・海女ちゃん食堂乙姫屋(2月～)

就労継続支援B型

【1】施設の名称

就労サポートセンターぴ〜す(平成25年5月1日開設)

【2】目的

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援する為、委託による農作業・訓練・創作活動・生産活動を行い、心のリフレッシュを図ると共に自らの自立心を向上できる為の支援を行います。
このサービスを通じて生産活動や就労に必要な知識や能力が高まった方は、就労継続支援(A型)や一般就労への移行を目指します。

【3】利用対象となられる障がい者の方

就労移行支援事業等を利用したが一般企業等に結びつかない方や、一定年齢に達している方などであって、就労機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上や維持が期待される方

- ① 企業等や就労継続支援事業(A型)での就労経験があるものであって年齢や体力の面で雇用される事困難となった者
- ② 50歳に達している者または障害基礎年金1級受給者
- ③ ①及び②に該当しない者であって、就労移行支援事業者によるアセスメントにより就労面に係る課題等の把握が行われている者

【4】作業内容

クラフト製品の制作・販売、モリンガ栽培・収穫・乾燥
除草作業(一般家屋周り・公園・公共施設等)、その他
グリーンパーク場(球拾い作業)

【5】利用定員

10名(3月31日時、登録2名)

【6】利用期間その他

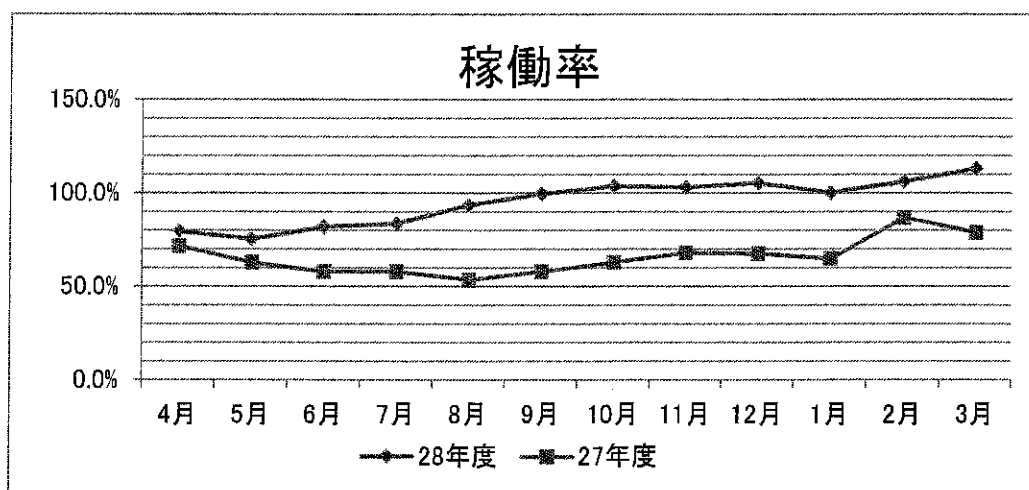
利用期間の定めなし

【7】販売会

期 日	販 売 会 名 称	販 売 場 所
平成28年6月4日・5日	花しょうぶ祭り	西の久保公園
平成28年8月26日	酒井病院夏祭り	酒井病院
平成28年10月16日	天草支援学校であいふれあいフェスタ	天草支援学校内
平成28年10月23日	あまくさ福祉まつり	五和町コミュニティセンター(中止)
平成28年10月23日	酒井病院文化祭	酒井病院
平成28年10月29日	ゆうすい祭	障がい者サポートセンターゆうすい
平成28年11月23日	こすもす秋の大感謝祭	熊本こすもす園
平成28年12月14日	こころの健康づくりの集い販売会	天草市中央保健福祉センター
平成29年1月10日	H28年度障がい者福祉施設商品展示・商談会	熊本県県庁

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均稼働率
利用回数	163	156	168	186	213	210	226	233	230	222	205	249	
可能日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	
稼働率(28年度)	79.5%	75.2%	81.8%	83.5%	93.5%	99.5%	103.5%	103.0%	105.2%	100.0%	106.0%	113.0%	
稼働率(27年度)	72.0%	63.0%	58.2%	58.3%	53.9%	58.2%	63.0%	68.2%	67.8%	65.2%	87.1%	79.1%	65%



【9】月別売上

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間売上
売上	¥69,770	¥66,840	¥148,300	¥67,670	¥87,214	¥77,746	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
売上	¥168,155	¥87,775	¥104,535	¥169,655	¥104,745	¥97,985	

【10】H28年度振り返り

28年度は納品先のかみやが1件増え、クラフト製品のバリエーションを増やし季節のイベント事に合わせた作品を作る事が出来た。ラッピングにも力を入れて取り組めたが、イベント前に慌ただしく作るなど計画性に欠けていた。施設外作業においては、市役所スポーツ振興課の運動公園において年2回の除草作業、グリーンパークの球拾いを継続して行っている事は、売上にも繋がっている。モリンガ作業は、作付面積を増やし収穫量が増えてはいるが出来高制となっている為、まだまだ売り上げには繋がっていない。稼働率が27年度より30%大幅に伸びた事は良かったが、今後も100%を目指して取り組んでいく。

【11】研修会等

- ・第1、2回工賃向上研修会
- ・天草地域福祉施設製品販売促進会議
- ・平成28年度 第1回農福連携事業研修会(工賃向上計画支援事業)

【12】商品取扱店

- ・ユメール(天草市五和町)
- ・とれたて市場(天草市瀬戸町)
- ・愛夢里(天草市河浦町)
- ・道の駅有明物産館(天草市有明町)
- ・やすらぎの湯(天草市牛深町)
- ・直売所かみや(天草市五和町)

28年度事業報告書

外部サービス利用型指定共同生活援助事業所

【1】施設の名称

グリーントポス

【2】目的

地域の共同生活住居において、家事・食事・相談など日常生活上の援助を行い、入居者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営む事が出来るよう支援を行う

【3】利用対象となられる方

1. 一定程度の自活能力のある知的・精神障がい者の方
2. 通院医療を継続している精神障がい者の方
3. 日中に就労又は就労継続支援等のサービスを利用している知的・精神障がい者の方

【4】入所定員

10名

【5】利用期間その他

制限はありません

【6】利用状況（平成29年3月31日付）

◇新規入所者数 1名（前年 2名）

◇退所者数 1名（前年 0名）

◇利用者数計 10名（前年 10名）

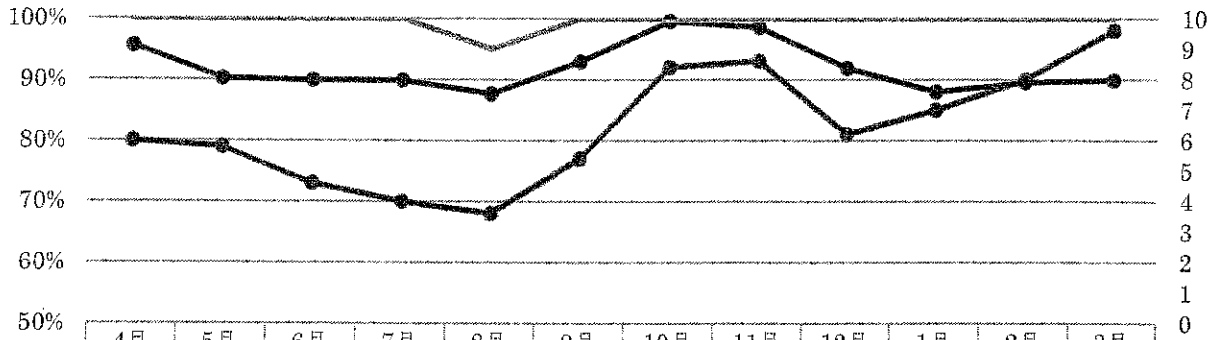
*延べ利用日数 3,360日 平均稼働率92.1%（前年比+9.9%）

【7】月別利用日数と稼働率

28年度 *体験入所日数含む

28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	年平均
利用日数	287	280	270	279	272	279	309	296	285	273	251	279	3,360	280
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30
稼働率	95.7%	90.3%	90.0%	90.0%	87.7%	93.0%	99.7%	98.7%	91.9%	88.1%	89.6%	90.0%		92.1%

稼働率と入所者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
27年度	80%	79%	73%	70%	68%	77%	92%	93%	81%	85%	90%	98%
28年度	95.7%	90.3%	90%	90%	87.7%	93%	99.7%	98.7%	91.9%	88.1%	89.6%	90%
28年度 入所者数	10	10	10	10	9	10	10	10	10	10	10	10

27年度
 28年度
 28年度
 入所者数

○稼働率低下要因として考えられる事

①入所人数

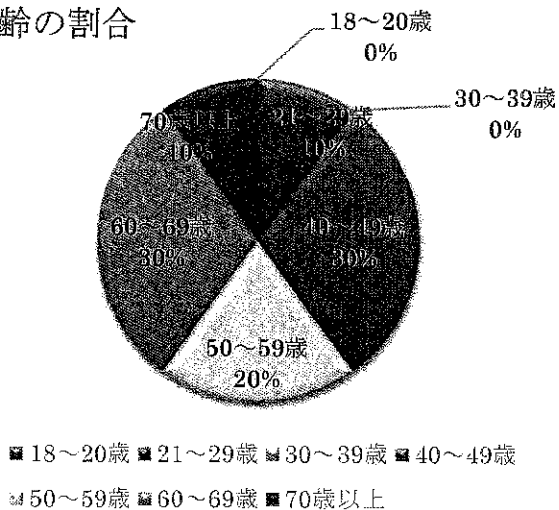
②入所期間中の入院（長期・短期）

- ・ 40代男性 5/11入院～7/31（約2ヶ月半）入院長期化見込みにてご家族より希望退所
- ・ 50代女性 12/20入院～2/28退院（約2ヶ月）
- ・ 40代男性 2/27入院～3/31退院（約1ヶ月）

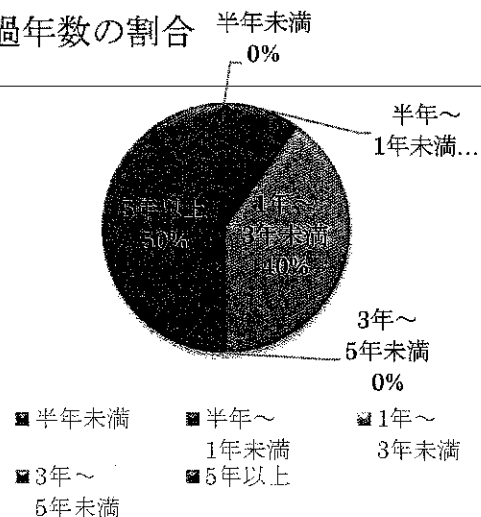
【8】入所者平均年齢 平成29年3月31日現在

	18～20歳	21～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
男性(名)	0	1	0	3	2	1	0
女性(名)	0	0	0	0	0	2	1

年齢の割合



経過年数の割合



【9】日中活動の場 平成 29 年 3 月 31 日現在

	地域生活支援センター グリーン		就労サポートセンター びへす
活動内容	地活	自立訓練 (生活訓練)	就労 A 型 / 就労 B 型
合計	1	4	5
男性	1	3	3
女性	0	1	2

【10】会議

グリーントポス内支援会議 毎月 1 回

【11】職員研修

◇施設内研修 4 回

- ・グループホームの役割とは
- ・食中毒予防と衛生管理
- ・個人情報の取り扱いについて
- ・利用者様や家族様への接遇

◇施設外研修 2 回

○食事提供

旬の野菜や魚を取り入れ家庭的雰囲気味わえる様努めた。常に衛生上の安全には細やかな配慮を行い、世話人同士の声掛けを実行。食器、調理器具など定期的に消毒を行い安全管理に努めた。

体調（情緒）不良により食事拒否をされる方に於いては、無理じいはせず声かけ後見守り観察。欠食継続時は他施設と連携。歯が弱い方には、本人の希望を聞いた上で食材を細かく刻む、擦る等調理方法や提供方法に工夫し「食べたい」と思える食事を提供する様心掛けた。

誕生会や外食、行事食、BBQを取り入れ食事に変化をつけると共に、入所者同士のコミュニケーションが図れる様努めた。

○入所者の方の人権尊重

個別相談等時に於いては周りに配慮し入所者の方が安心して相談できる環境づくりを行った。
無理強いや強制は行わない

○日中活動先への送り出し

職場に、日中活動先に同僚に仲間に必要とされている存在であることを常に伝え、励ましを行いながら、日々笑顔で送り出す事に努めた。

○健康管理

日頃より入所者の方の表情、言行動に気を配り、管理者やサービス管理者に申し送る。

状況に応じ、定期受診日以外の受診の促し、同法人内施設への協力依頼、地域検診、健康診断の促し。

体重増加や便秘を気にされている入所者の方へ散歩の声かけと促し。

服薬に自信が無い方や入所間もない方の誤薬等が無い様、都度服用前と後の薬袋を目視にて確認。

どうしても間隔を空けず服用してしまう方には、自己管理を目標にかかげ、1日分毎のお渡し、加えて同法人内施設に協力依頼し、とん服保管管理、助言対応等の支援を行って貰った。

○対人関係での調整

トラブルは当事者同士の調整を優先。介入が必要な場合または、当事者が望んだ場合に調整。

社会生活する上で人間関係の大切さを助言。

トラブル要因は、入所者の方の情緒不良時の思い込み、暴言や行動が多かった。

○身辺整理への援助

洗濯・ゴミの分別・居室掃除・入浴・衣替え等の声掛け、助言。どうしても居室の片づけを自分で出来ない方は、ご家族に協力を頂きご家族と一緒に居室の掃除を定期的に行っている。1年あまりが経過し、頻回に会えないご家族とのコミュニケーションが図られ、当事者は喜んでいる。

○地域との交流

地域行事への参加や、グリーンフェスタにて地域の方々と交流しコミュニケーションを図った。年2回地域の清掃活動への参加。

○防災管理

年二回（6月・3月）の火災非難訓練と9月に消火器・火災報知器・避難誘導灯等の点検を定期的に行い防火設備の整備に努めた。

常時防火設備の保全と避難誘導経路の確認を行い、入所者・世話人の防災意識の向上に努めた。

【振り返りと今後の展望】

開所から7年。入所者の方の、近い、遠い将来的目標は様々であるが、1人ひとりが望む日常生活・地域生活・意欲に寄り添い、健康管理に気を配りながら、自立へ向けた援助を行ってきた。

昨年同様、同法人内の各施設と連携し日中対応可能な支援は協力を依頼した。情報を共有する事で日中の体調把握につながり、夜間の対応に生かす事が出来た。又、入所者さんが日中活動先での困りごとや悩みを夜間まで持ち越し、宿直者へ相談する回数も減少した。

10名中5名の方は入所期間5年以上経過され、自分にあった生活スタイルが確立されてきた。

又、時間経過と共に集団生活での個々の役割が自然と芽生え、自発的に皆で話し合おうとする姿勢も見受けられた。徐々にではあるが、受け身の支援から、支援から何かを発見し自分に生かす事、本人の気持の余裕と個々の自立への意識の変化がみられる1年であった。

逆に高齢の方については、体調をくずされる頻度も増えた。徐々に出来る事が減少してゆく中で、手をかけすぎず、今もっているご本人の能力や意欲をうばわない様に支援してゆく事が課題である。

本人の望む生活、生き方に出来る限り近づけられる様支援者一丸となり、安心して暮らせる環境づくり、居心地の良いグループホームの生活づくりに今後も努めて行く。

